



6月のえんだより

令和4年5月31日

天気の良い日が続き、日も長くなったことで朝から夕方まで外で元気に遊んでいる子どもたちです。この時期になると虫探しに夢中！「先生も一緒に虫探そう」と誘ったり、友達同士で捕まえた虫の数を競ったり・・・楽しみ方は様々です。楽しさに共感しながらも、命の大切さも伝えていきたいと思います。

先日、2歳児から5歳児までのお友だちが畑やプランターに野菜や花の苗や種を植えました。子どもたちも水やりをしています。これからは梅雨の季節となるので、恵みの雨でぐんぐん大きくなることでしょう。子どもたちと生長を楽しみに過ごしていきたいです。



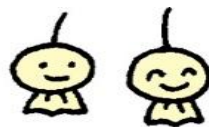
- 1日(水) サッカー教室(5歳児)
- 2日(木) まなびタイム(5歳児)
- 3日(金) 歯科健診(10:30~)
- 7日(火) 科学(5歳児)
- 8日(水) サッカー教室(4歳児)
- 10日(金) 体操教室(3・4・5歳児)
- 16日(木) まなびタイム(5歳児)
- 23日(木) 避難訓練
- 24日(金) 体操教室(3・4・5歳児)
- 28日(火) プール開き誕生会
- 29日(水) 夏祭り総練習

※3日、嘱託医による歯科健診がありますので、出席のご協力をお願い致します。



- 2日(土) 夏祭り
- 5日(火) 交通安全教室(3・4・5歳児)
- 7日(木) 七夕誕生会
- 8日(金) 体操教室(3・4・5歳児)
- 11日(月) 避難訓練
- 14日(木) まなびタイム(5歳児)
- 21日(木) まなびタイム(5歳児)
- 22日(金) 体操教室(3・4・5歳児)
- 29日(金)~30日(土) お泊り保育(5歳児)

※11日~23日まで、実習生が入りますので、よろしくお願い致します。



てるてる坊主の効果が上がる作り方！？

天気が晴れて欲しい願いを込めて、昔からてるてる坊主を作るおまじないがあります。しかし、いざ作ってみるものの、朝起きると「あー雨だった・・・」てことはありませんか？そこで、てるてる坊主の効果が上がる正しい作り方を紹介致します！！

それは・・・“顔を書かずに吊るすこと”なんです。「先に顔を書くと雨で顔がにじみ、泣いたような表情になり、雨をもたらすから」などと理由は諸説ありますが・・・てるてる坊主の正しい使い方は、**てるてる坊主に顔を書かずに吊るし、翌日晴れたことを確認してから顔を書いて処分する**のです。



顔のないてるてる坊主？と思うかもしれませんが、願いが叶った時に感謝の気持ちを入れて顔を書くというのもいいものですね！晴れて欲しい日、お子さんと一緒に作ってみてはいかがでしょうか？



- ・検温表は、土日や欠席した日も記入をお願い致します。(お休みの日の体調を把握する為)また、前月の分は園で保管しておりますので、月替わりの際は、**前月の分も持ってきて下さい。**
- ・送迎の際、玄関の上の鍵を必ず閉めて下さい。また、**10:15~15:00までは防犯の為、ダブルロックしております**ので、その時間にお迎えの際は、インターホンを鳴らして下さい。
- ・今年度より、身体測定の結果は“おがスマ”の「成長記録」に入力させていただきます。月末になりましたらご確認下さい。
- ・お休みの連絡を“おがスマ”でお願いしていますが、9時以降の連絡は、直接電話でお願い致します。



いすぐみ(1歳児クラス)

ねらい

- ・春の自然や外気に触れ、戸外遊びや探索活動を十分楽しむ。

天気の良い日には一日一回必ず戸外での活動を取り入れ、春の心地よさを感じながら遊びを楽しめるよう保育を進めていきました。戸外では、「きれいーい!」「ポポ(たんぽぽ)」とお花の名前を覚えて、自然物に興味を示し沢山の発見や驚きが見られ、やりとりが楽しい毎日です。また、アンパンマンすべり台や異年齢児の真似をしての虫探し、ままごとハウスの扉で「いないいないばあ!」をするのもブームです。自然物は子ども達の心を動かし、感性を豊かにしてくれます。面白さや不思議さ等を保育教諭も共感しながら今後も自然の中でのびのび遊んでいきたいと思ひます。



ぞうぐみ(4歳児クラス)

ねらい

- ・友達や保育教諭に親しみ、安定した関係の中で遊びを楽しむ。

遊びや生活の中で会話をしながら関係を深めてきた事で、自分から「バナナ鬼ごっこしよう」「次はハンターごっこね」と好きな遊びに誘って関わりを楽しんでいます。その中で相手の気持ちを考える場を設けてきた事で、少しずつ譲ったり、優しくしたりと思いやりの気持ちが育ってきています。



ねらい

- ・季節を感じながら体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。

天気の良い日にはたくさん戸外遊びを取り入れた事でサッカーや鬼ごっこ、縄跳びなど元気いっぱい遊ぶ姿が見られています。その中で暑さを感じて自ら水分補給をしたり、タオルで汗を拭いたり自分の体の変化に気づき、正しい対応ができるようになってきました。今後も衣服調節や汗の始末の仕方等、季節に応じた過ごし方を伝えていきたいと思ひます。